

英語

出題の傾向

今年度も例年通りの出題方針を取っており、長文の問題・文の書き換えの問題・整序の問題・会話の問題・語いの問題・空所補充の問題・アクセントの問題・発音の問題・英作文の問題を出題しました。出題範囲も例年通り、中学校での既習内容が多く、教科書やワークブックに載っている単語・熟語・構文を身につけておけば、特に難しいものはありません。

2023 今年度の出題と解説

① 長文問題

会話文を読み、本文内容の把握、英問英答、そして指示語の問題を主に出しました。今年度は駅で待ち合わせをしている4人が遊びに行く過程で、プリペイド式ICカードの利便性に関して話をしている内容を出題しました。

問1 内容一致の問題です。全体的な正答率は悪くなく、きちんと英文を読み取れていたように思います。c「Johnの祖母は日本の文化や食べ物に興味があり、日本へ来たこともある。」の問題文前半は正しいですが、後半部分の「日本へ来たこともある」は本文中に書かれておらず、推測で○にした受験生が見られました。内容一致の問題は本文中から正解を読み取ることが大事です。

問2 例年出題している英問英答の問題です。本文中より解答のポイントになるキーワードを探してくることはできていましたが、単語だけの答案が散見されました。英問英答の問題ではS(主語)+V(動詞)を使って答えるようにしてください。全体的に時制や人称を間違えて書く答案が多くあり、答えのポイントは分かっているのに減点されている惜しい答案が見られました。(3)においては、解答は作られているのに、代名詞Itに書き換えておらず、減点されている答案がありました。(4)は問題文のall vending machinesと本文中のmany vending machinesを等しいと考え、Yesで解答する答案が多く見られました。(5)ではJohnという主語が使われているため、答えるときはhis familyで答えなければならないところをmy familyとする答案が見られました。正確な答え方や語いの意味を正しく理解することが重要になります。

問3 本文中の語が示す具体的な内容を日本語で答える問題です。(1)と(3)の正答率が非常に低い結果となりました。特に(1)「私(Sarah)はそれを知らなかった」では「スカイツリー」だけを抜き出す答案が多く見られました。ここでは「Harukiがスカイツリーに行ったことがないこと」まで正確に抜き出す必要があります。このように情

報を過不足なく答えることが必要になります。また、指示語は必ずしも直前の語を指しているとは限りません。文章全体を把握し、何を指しているか理解する必要があります。

会話文では、誰がどのような発言をしているのか、そしてどのような状況での会話かを理解することが大切です。途中で場面が変わることもあるので、英文を見て状況を把握しておきましょう。今年度も下線部和訳の問題を出題しませんでした。文章全体の流れをきちんと把握することが大切です。

② 文の書き換えの問題

例年通りの難易度で出題しました。(2)は書かなければならない語句は分かっていたのですが、easierの綴り間違いが見られました。(3)では元の文章の過去時制wasを見落としていたのか、make / makesなどを使用する答案が見られました。(4)は(2)と同様に、takenの綴り間違いが多く見られました。

この形式の問題は問題集によく掲載されているので、繰り返し練習することが大切です。

③ 整序の問題

今年度も与えられた語句をすべて使用せずに書く答案がありました。また、並べることはできているのに、写し間違えたために減点された答案も多くあります。全体的にはよくできていたため、上記のようなケアレスミスが非常に勿体なく感じました。(4)では動名詞を主語に置くことはできていましたが、後半のgood for our healthを並べることができない受験生が目立ちました。

整序問題では、どの文法が問われているのかを考え、語を並べていきます。教科書や問題集に載っている基本的な例文を暗唱して、使えるようにしておくことが大切です。

④ 会話の問題

会話文は非常に良くできていました。どの問題も正答率は8割を超えており、解きやすかったように思います。会話問題では場面設定を考えることが大切です。教科書や問題集などを参考にして、決まり文句のような、基本的な会話のやり取りを身につけておきましょう。

⑤ 語いの問題

語いの定義が英語で示されています。(1)(2)の月と曜日はほぼ毎年出題していますので、確実に書けるようにしておきましょう。(2)のTuesdayはThursdayと混同して、綴り間違いをしている解答が見られました。(3)のkitchenはあまり書く機会が無いためか、正確に書けない受験生が見られました。身近な語いの中でも綴り間違いしやすい単語は出題される可能性が高いので、丁寧に覚えておきましょう。

⑥ 空所補充の問題

教科書レベルの文法力を試す問題です。(4)(5)は他の問題と比較して難しくしました。特に未来の表現でも現在形を使用する場合など、理解が難しい文法は正答率が3割を下回りました。otherとanotherの違いなども苦手であったかと思います。似たような意味を持ち、使い分ける必要性がある語いに関しては細かく覚え、使いこなせるようにしておきましょう。

⑦ ⑧ アクセント・発音の問題

アクセントと発音の問題は日頃から英文を読む習慣がついている受験生が多いためか、全体的に正答率が高く出ました。この種の問題への対応は普段の音読が非常に重要になってきます。発音をきちんと覚えることで、リスニングの力も養えるので、日々丁寧に音読をしていきましょう。

⑨ 英作文の問題

例年通りの条件付きの英作文を出題しました。今年度は「夏と冬のどちらが好きかを尋ねる英文」を問いました。What do you likeのようにWhichを使用していない解答、betterの代わりにbestを使用している解答が見られました。また、summer、winter、seasonのように、解答を作成するのに必要不可欠な語いが書けない答案も多く見られました。

解答例を見れば分かるように、語い・文法共に難解な問題ではありません。基本的な表現を英語で書けるようにしておきましょう。

対策と アドバイス

学校で使用する教科書や問題集の範囲を大きく逸脱することはありませんので、基本レベルの問題を中心に勉強しておけば十分に対応できます。定期考査や実力問題を復習し、出てきた単語、熟語、例文はその都度使えるようにしておきましょう。

また、英問英答問題の練習が不足していると思われる答案が目立ちます。教科書や問題集の問いに英語で答えられるように練習しましょう。長文問題が苦手な受験生は、まずは語いや文法を一つずつ理解し、丁寧に読むことを意識しておきましょう。本校の過去の問題を解いて出題傾向を理解することも大切です。

最後に、音読をする習慣を身につけておきましょう。一つ一つ丁寧に音読し、書いて覚える勉強法を実践してください。